

LOGOS × SENGOKUALADDIN ポータブルガスホットプレート

取扱説明書

型式 81060010

保証書付

日本国内家庭用
Use only in Japan

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ LOGOS × SENGOKUALADDIN ポータブルガスホットプレートを安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。そして必要な時に読みかえしができるように必ず保管してください。裏表紙が保証書になっています。



■ 本商品は利便性を追求した簡易ガス器具です。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損のおそれがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解の上でご使用ください。この機器は国内専用ですので、海外で使用しないでください。

● 圧力感知安全装置付

| | |
|----------------------|-----|
| ご使用の前に | 1 |
| 特に注意していただきたいこと | 1～4 |
| 圧力感知安全装置が作動したときの処置方法 | 5 |
| 各部のなまえ | 5 |
| 仕様 | 6 |
| 正しい使いかた | 6～8 |
| 日常の点検・お手入れ | 8～9 |
| 故障・異常の見分け方と処置方法 | 9 |
| 故障かな？と思われたときは | 10 |
| アフターサービス | 10 |
| お客様の個人情報のお取り扱いについて | 裏表紙 |
| 保証書 | 裏表紙 |

ご使用のまえに

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---------------------------------------|
|  警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの |
|  注意 | 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの |

絵表示には次のような意味があります



一般的な注意



必ず行う



一般的な禁止



火気厳禁



分解禁止

特に注意していただきたいこと

1. 使用容器 (ボンベ) とその取扱いについて

1. 容器 (ボンベ) の過熱禁止について



警告

次のような使い方はしない。容器 (ボンベ) が過熱し爆発の原因となります。



●調理以外の用途 (木炭・練炭の火起こしなど) での使用



●本製品を2台以上ならべての使用



●セラミック付焼網器、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器、省エネごとく、省エネリング、ふく射熱の強い調理器具等の使用。またアルミホイルなどで焼き網等を覆ったりする使用方法。食材をアルミホイルなどで包んでの調理



●平プレート・2色鍋の空だき
本体内に熱がこもり、容器 (ボンベ) が過熱して爆発するおそれがあります。またセラミック加工 (コーティング) が焼損するおそれがあります



●本製品の周囲に燃えやすい物や予備の容器 (ボンベ) を置く



●容器カバーを覆うような大きな調理器具 (鉄板や大きな鍋、ジンギスカン鍋、たこやき鉄板や魚焼器) などの使用



●夏の砂浜など日光によって容器 (ボンベ) が過熱するような場所での使用



●付属の平プレート・2色鍋・えくぼプレート (別売品) 以外のもは使用しない



●火気の近くでの使用



●電磁 (IH) 調理器・電熱器など熱が発生する器具の上での使用や保管



●石や砂、陶器などを使った焼きいも器の使用

2. 容器（ボンベ）の取扱いについて

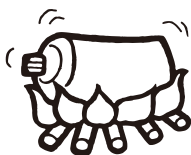


警告

火災や爆発事故などの危険がありますので、次のことを必ずお守りください。

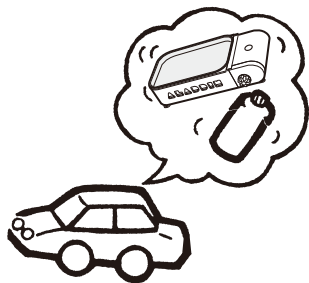
- 容器（ボンベ）を火の中に入れない。

過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。



- 容器（ボンベ）は涼しい場所に保管する。

火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しがよく湿気の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。器具内に容器（ボンベ）を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。また器具の使用後は容器（ボンベ）を取り外してください。



- 容器（ボンベ）はファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しない。

熱で容器（ボンベ）の圧力が上がり爆発の原因となります。



- 容器（ボンベ）はガスをなくしてから廃棄する。

1. 容器（ボンベ）を振ってサラサラと音がする時は、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、ゴミに混入すると危険です。お湯を沸かすなどで使い切ってください。



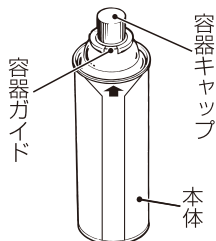
2. 完全に使い終わってから他のゴミと区別し、地域の取り決めにしたがって廃棄してください。



注意

- 専用の容器（ボンベ）を使う。

容器（ボンベ）は、SENGOKU ALADDIN用の表示のある専用容器（ボンベ）を使用してください。他の容器（ボンベ）を使用すると、ガス漏れなどの原因となります。



- ガスを故意に吸い込まない。

酸欠の原因となります。



- 強い衝撃を与えない。

ガスもれ、爆発の危険があります。



お願い

- 容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

- 使用時は容器キャップを取り外し、保管のときは容器キャップを取り付けてください。

- 容器（ボンベ）はときどき点検して、表面にさびが発生している時は、ガス漏れがないことを確認してできるだけ早く使い切ってください。

2. 火災予防



警告

火災や爆発事故などの危険がありますので、次のことを必ずお守りください。

- 使用中は器具から離れない。

火をつけたまま外出したり、眠り込んでしまわないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。特に油気のあるものを料理している時は危険です。



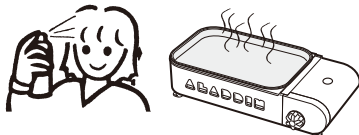
- 使用中、近くに容器(ボンベ)やスプレー缶を置かない。(特に予備の容器(ボンベ)やヘアスプレーなど)

熱で容器(ボンベ)内の圧力が上がり爆発の原因となります。



- ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しない。

火が燃え移ることがあり危険です。



- 子供だけで使わせない。



- 本体内部のU字バーナー付近に顔や手を近づけない。



- 容器(ボンベ)がセットされていて、着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険です。

充分にご注意ください。

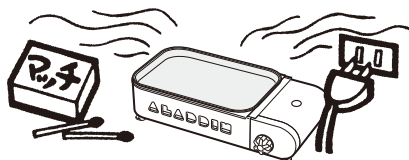
- 腐った玉ねぎのようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。ボタンガスは空気より重く下にたまりますので、電気器具に触れずに、すぐに次の処置をしてください。

①使用をやめ、(つまみを消火にする)

②容器(ボンベ)を取り外し、

③窓や戸を開けてガスを外に出す

火気や火花で引火します。電気器具(換気扇など)の入切や電源プラグの抜き差しはしないでください。また、周辺の電話も使用しないでまず上記の処置を行なってください。完全に換気ができるまでは火気は厳禁です。



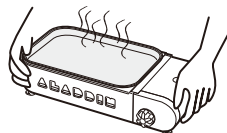
- 絶対に改造・分解は行わない。特にガス通路部分は分解しない。



注意

- 次のような場所では使用しない。

- カーテンなどが触れそうな場所
- 燃えやすい物のそば
- 棚の下など、落下物の危険のある場所
- 本製品の下に段ボール紙など燃えやすい物や、熱に弱い物(たたみ、じゅうたん、ビニールクロス等)の上
- 熱に弱いガラスや樹脂製のテーブルの上
- 無煙ロースターなど排気する設備の近く。



- 火のついたままの持ち運びをしない。転倒するとやけどや火災の原因となります。

- 家具や壁など可燃物から15cm以上離して使用する。本製品の上方と可燃物の天井、棚、電気器具などの間は100cm以上離して使用する。

●壁などが熱せられ低温火災のおそれがあります。

●塗装、うるし塗りなど熱に弱いテーブルの上でのご使用のときは不燃性の断熱材を器具の下に敷いてください。

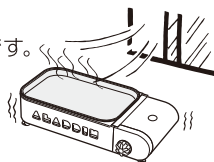


3. 使用場所

⚠ 注意

- 強い風の吹き込む所は避ける。

炎が吹き消されることがあり危険です。



- 狭い場所や換気の悪い場所は避ける。

テント内や車内などの狭い場所では絶対に使用しないでください。



- 寒冷地での使用はさける。

気温が15℃以下のときは、充分な火力が得られない場合があります。



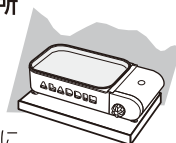
- 直射日光をさける。

- 本製品の底部から風や煙を吸込む場所はさける。

- 地面の涼しい所で使用する。

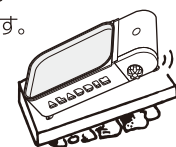
- 板などを敷く。

器具の底が砂や小石などで埋まらないように下に板などを敷いて、水平に設置してください。



- 安定した水平な所に置いて使用する。

本製品が傾いたり、滑り落ちると危険です。

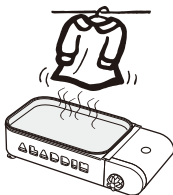


4. 使用上の注意

⚠ 注意

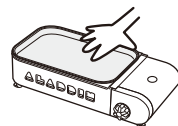
- 衣類の乾燥などに使用しない。

衣類が落下して火がつき火災などの危険があります。



- 使用中や使用後しばらくは手を触れない。

器具が熱くなっていて、やけどのおそれがありますので、手を触れたり移動させないでください。



- 使用中は特にお子さまに注意してください。

- 調理以外の用途には使用しない。

過熱・異常燃焼により焼損、火災などの危険があります。



- 使用中に本製品を傾けたり運んだりして動かさない。



- 換気（給気、排気）が充分できる所で使用する。

使用中はときどき窓を開けるか、換気扇を回して部屋の空気を入れ換えてください。閉めきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

お願い

- 点火、消火時のほか、使用中には正常に燃えているかときどき確認してください。

万一容器（ボンベ）が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えてしまいますので次のような処置をしてください。

- (1) 器具せんつまみを「消火」の位置に戻し、容器カバーを開けます。容器（ボンベ）の底を持ち上げながら取り外します。
- (2) 容器（ボンベ）の温度が上がった原因を取り除いてから再使用してください。容器（ボンベ）の温度が高いうちは、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。容器（ボンベ）は必ず冷やすか、別の容器（ボンベ）を使用してください。
- (3) 容器（ボンベ）をセットしてから、リセットレバーを強く押し解除してください。（「3. 圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」参照）

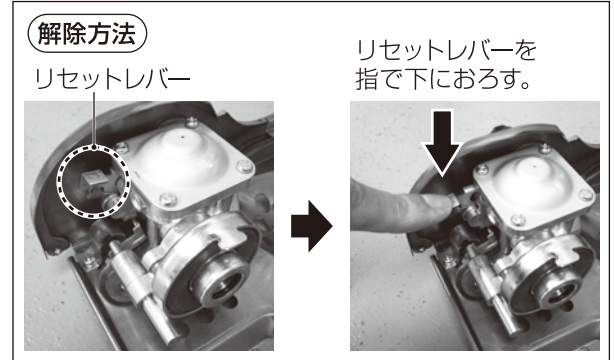
圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

■ 圧力感知安全装置とは？

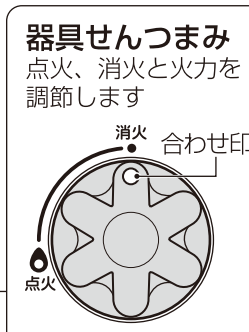
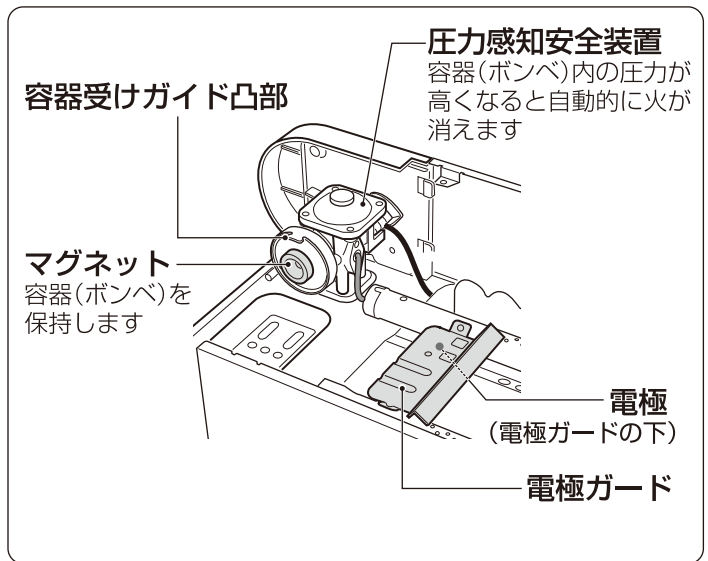
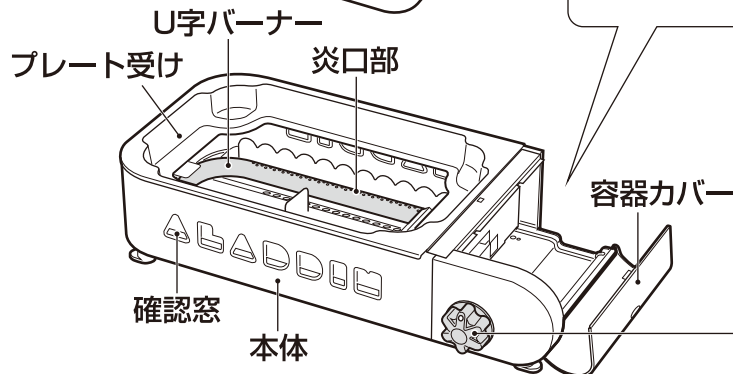
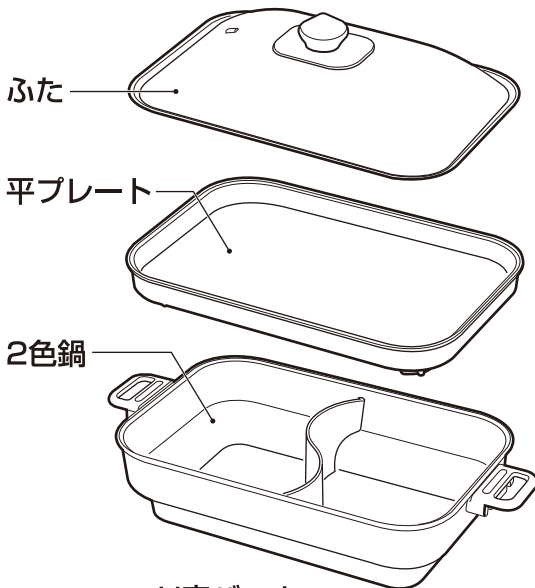
容器カバーの上に鉄板をかぶせての使用・直射日光の強い場所、夏の砂浜の上での使用などにより容器（ボンベ）が過度に熱せられ、容器（ボンベ）内の圧力が異常に高くなると（0.4MPa～0.6MPa）圧力感知安全装置が動き、自動的に火が消えます。

■ 容器（ボンベ）の取りつけかた

1. 調理している平プレートなどを下ろし、器具せんつまみを「消火」の位置に戻してください。
2. 容器（ボンベ）を本製品から取り外してください。
3. 「特に注意していただきたいこと」の「2.容器（ボンベ）の取扱いについて」の項をよく読んで、原因を取り除いてください。
4. 冷えた容器（ボンベ）をセットし、リセットレバーを押してから再使用してください。



各部のなまえ



仕様

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

| | | | |
|--------|---|-----------|-----------------|
| 製品名 | LOGOS × SENGOKU ALADDIN ポータブル ガスホットプレート | 型式 | 81060010 |
| 使用ガス | ブタンガス | 使用容器(ボンベ) | SENGOKU ALADDIN |
| ガス消費量 | 約 152g/時 (周囲温度20℃) | 点火方式 | 圧電点火方式 |
| 安全装置 | 圧力感知安全装置 (ガス通路閉止型) | | |
| 外形寸法 | 平プレートセット時:幅 約42×奥行 約21.6×高さ 約 20.5 (cm) / 2色鍋セット時:幅 約46.5×奥行 約21.6×高さ 約22.5 (cm) | | |
| 質量(重量) | 平プレートセット時:約 2.7kg / 2色鍋セット時:約 3.1kg | | |
| 連続燃焼時間 | SENGOKU ALADDIN容器 (ボンベ) を使用時:約 1時間35分 [未使用の容器(ボンベ)を最大火力で全て使用したときの実測値。気温 20℃~25℃] | | |

容器(ボンベ)

| | | | |
|------|----------|------|-------|
| 容量 | 250 g | 主原料 | ブタンガス |
| 使用時間 | 約 1時間35分 | 容器材質 | ブリキ鋼板 |

※使用時間は、初期の最大燃焼状態で持続した場合の時間です。
容器(ボンベ)が冷えて火力が弱くなった場合は、長くなります。

ご使用方法

警告

- 使用前には必ずガス漏れの確認、点火・消火動作に異常のない事の確認をしてからご使用ください。
- 故障または破損したと思われるものは、絶対に使用しないでください。
- 容器(ボンベ)は切込み(容器ガイド凹部)を上にして正しくセットして使用してください。

間違った使い方はガス漏れ、火災の原因となります。

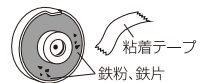
- 容器(ボンベ)を確実に装着してください。

確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れや容器(ボンベ)がセットできなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。

容器受けガイド(凸部)



容器(ボンベ)装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。



注意

- 器具せんつまみが「消火」の位置にないと、容器(ボンベ)が装着できません。
- 点火しないまま器具せんつまみを「消火」以外の位置にしておくと、生ガスが出て危険です。
- 点火の際は必ず「平プレート」または「2色鍋」を取り付けてから、点火操作を行ってください。
- 点火操作を行う場合は、顔や手をU字バーナーに近づけないでください。
- 点火操作が早すぎるとU字バーナー内にガスが充分行き渡らず、着火しにくくなります。
- 使い始めのときや容器(ボンベ)の温度が低いときには、点火しにくいことがあります。このような場合は、点火棒(ガスマッチなど)に着火してから器具せんつまみを徐々に回して、U字バーナーの両側に点火します。気温が低いときや連続して使用されるときは、40℃以下の暖かい場所で保管した容器(ボンベ)のご使用をおすすめします。
- 点火したとき、炎がU字バーナーから離れて燃焼していることがあります。異常ではありません。2~3分間、器具せんつまみを少し絞って使用してください。
- 炎を小さくしすぎると、風で消えやすくなりますので、ご注意ください。
- 容器(ボンベ)を取り外した後も本製品の配管には少量のガスが残っています。危険防止のためもう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。
- 容器(ボンベ)の取り付けにくい場合には、容器(ボンベ)の先端(右図)に植物油を薄く塗ってください。
- 脂身の多く含んだ肉類や魚を調理しますと、落ちた脂で煙が出たり、炎が大きくなる場合がありますので、注意してご使用ください。

容器(ボンベ)の先端



■ 設置前の準備

- 周囲に引火物、可燃物がある場合では火災のおそれがありますので、使用しないでください。
- 強い風が吹いている場所では、転倒したり、火が吹き消され、ガス漏れのおそれがあり危険です。風が直接あたらない場所を選んでご使用ください。
- 水平で足場が安定した場所でご使用ください。
- 吊り下げたランタンなどの下での使用はおやめください。

■ 容器（ボンベ）の取りつけかた

下記の手順に従って容器（ボンベ）の取り付けを行ってください。誤った手順で取り付けを行うと、予期しない危険が考えられますので、ご注意ください。

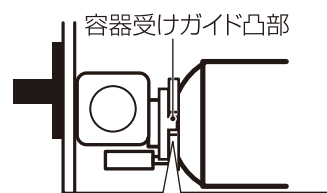
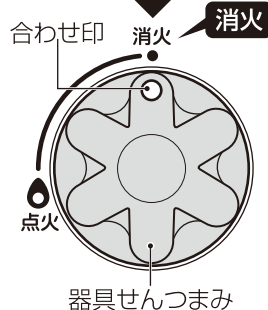
1. 容器カバーを開けてください。
2. 器具せんつまみを「消火」の方向へ止まるまで回してください。器具せんつまみが「消火」の位置にないと、容器（ボンベ）がセットできない構造になっていますので、ご注意ください。
3. マグネットに異物が付着していないか確認してください。
4. 容器（ボンベ）のキャップを取り外し、容器（ボンベ）のステム先端に異物の付着がないことを確認のうえ、容器（ボンベ）の表示「この切込み凹部をこんろ等の容器受ガイド凸部に合わせてセットしてください」の指示どおりセットしてください。
5. 容器（ボンベ）の切込み凹部を容器受ガイド凸に合わせ、容器（ボンベ）に手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、完全にマグネットに密着するまで押しつけて装着します。
6. 容器カバーを閉じてください。

※ 容器（ボンベ）の取りかえについて

長時間ご使用の時など、容器（ボンベ）が冷えてきた場合は火力が弱くなってきますが、故障ではありません。

別の容器（ボンベ）をご使用になるか、しばらく室温で放置すれば元の火力に戻ります。（容器（ボンベ）はガスがなくなるまで使用できます）

※器具せんつまみが「消火」位置になっているか確認してください



マグネットと容器（ボンベ）の間に隙間がないように取り付けてください

■ 操作のしかた

1. 点火

器具せんつまみを「点火」の方向にゆっくりと回し点火します。圧電点火装置がカチッと音がするまで回して着火を確かめてください。1度でつかない場合は、再度くり返してください。点火しないまま、器具せんつまみを回し、点火の位置にしたままにしておくと生ガスがでて危険です。点火したかどうかを必ず確認してください。

※使い始めのときは、配管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。その場合は、注意しながら数回点火操作をくり返してください。

※点火したとき、炎がU字バーナーから離れて燃焼していることがありますが、これは故障ではありません。外気温の高いときや新しい容器（ボンベ）を使用したときに起こります。2～3分使用すると、炎が安定しますので、安定するまで少し器具せんつまみで調整してご使用ください。

2. 火力調節

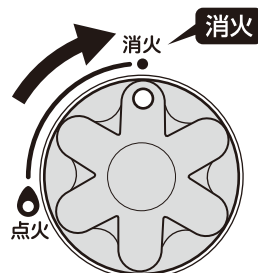
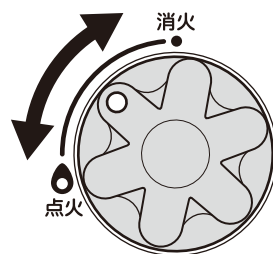
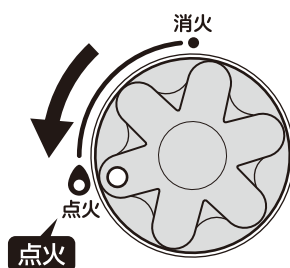
器具せんつまみを「点火」の方向へ回すと火力が強くなり、「消火」の方向にゆっくり回すと弱くなります。弱火で使用されるときは、特に風に注意してください。

3. 消火

器具せんつまみを「消火」の位置にもどすと、ガスが出るのがとまり、火が消えます。

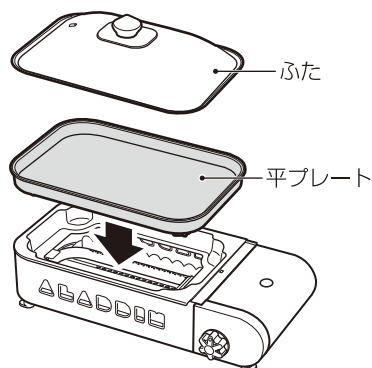
4. 容器（ボンベ）の取り外しと保存

器具せんつまみを「消火」の位置に合わせてから、容器カバーを開けます。容器（ボンベ）の底を持ち上げながら取り外します。使用後は、その都度、必ず容器（ボンベ）を取り出し、容器キャップをかぶせてから、40℃以下のところに保存してください。ストーブ、こたつなど、他の熱源の近くに絶対におかないでください。また、使用済みの容器（ボンベ）は火中に投げ入れないでください。



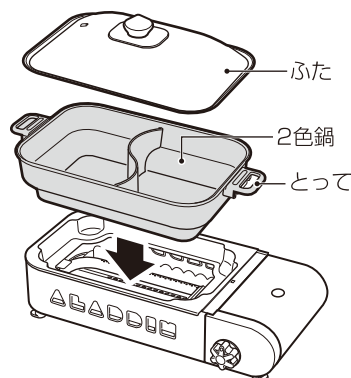
■平プレートを使用する場合

- 本体に平プレートを取り付けます。
●水平になるようにセットしてください。



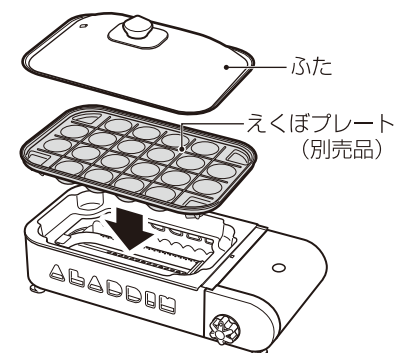
■2色鍋を使用する場合

- 本体に2色鍋を取り付けます。
●左右のとってを持って、水平になるようにセットしてください。



■えくぼプレート(別売品)を使用する場合

- 本体にえくぼプレート(別売品)を取り付けます。
●水平になるようにセットしてください。



⚠ 注意

- 使用中や使用後しばらくは手を触れないでください。
器具が熱くなっていて、やけどのおそれがありますので、手を触れたり移動させないでください。

平プレート・2色鍋の取扱いについて

- へらなどでこすると光沢ムラができることがあります。使用上さしつかえありません。
●ご使用にともない調理面に色むらが出るがありますが、これは食品の油脂分によるもので、使用上さしつかえありません。

お願い

- 空だきは絶対にしない
セラミック加工の劣化やはがれの原因になります。
- 熱くなった平プレートや2色鍋を急激に冷やさない
急激な温度変化により変形するおそれがあります。
- 樹脂製または木製のへらやおたまを使用する
金属製のへら・おたま・フォーク・ナイフなどはセラミック加工面を傷つけ、腐食の原因になります。
- 調理中や消火直後は平プレートや2色鍋を素手で持たない
平プレートや2色鍋が熱くなっていますので、やけどのおそれがあります。必ずミトンなどを使用してください。
- 持ち運ぶとき片手で持ったり、傾けたりしない
平プレートや2色鍋がはずれ、けがや破損の原因となります。
- 料理の残りや水を入れたまま放置しない
こびりつきや腐食の原因になります。
- 樹脂製のへらやおたまを平プレートや2色鍋の中に放置しない
空だきすると予熱でも溶けるおそれがあります。
- 平プレートや2色鍋は本機器専用のため、他のガスこんろや電気式グリルに使用しない
平プレートや2色鍋が溶解したり、他のガスこんろや電気式グリルが破損する場合があります。



※ えくぼプレート(別売品)も同様に取扱ってください。

日常の点検・お手入れ

- ご使用後は、そのつど必ずお手入れをしてください。
- 点検・お手入れは、必ず容器(ボンベ)を取り外し、器具が十分に冷めてからはじめてください。
- 手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買上げの販売店にご相談ください。

■長時間使用しない場合

長時間使用しない場合は、次の表(9ページ)にしたがって手入れをした後、湿気の少ない場所に保管してください。なお、その際、容器(ボンベ)は必ず取り外し、容器キャップをかぶせて40℃以下のところに保管してください。特にストーブなど他の熱源のそばには絶対に保管しないでください。ときどき点検して、さびたりしないように手入れを行ってください。

| | | |
|------------|--|---|
| 本 体 | <ul style="list-style-type: none"> ● 台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）をしみこませた布で汚れを充分にとった後、お湯ですすぎしぼったきれいな布で、もう一度ふき、充分乾かしてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属製のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。 |   |
|------------|--|---|

| | |
|----------------------------|--|
| 平プレート・2色鍋・プレート受け・ふた | <ul style="list-style-type: none"> ● ご使用後は中性洗剤でよく洗い、乾いた布で水分をふきとり、湿気を避けて保管してください。 ※みがき粉、ナイロンタワシ、金属製のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。平プレート・2色鍋は、セラミック加工を施しています。 |
|----------------------------|--|

| | |
|---------------|---|
| U字バーナー | <ul style="list-style-type: none"> ● U字バーナーが目づまりをおこすと、不完全燃焼をおこし危険です。穴が詰まって炎が不ぞろいになったときや汚れがひどいときは、金属ブラシや千枚通しなどで掃除してください。（この時、電極部の位置を動かさないようにしてください） |
|---------------|---|

| | |
|-------------------------------|--|
| 電極の汚れ (点火しなくなった場合) | <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れのとき器具せんつまみを点火方向に操作すると感電することがありますので、ご注意ください。 ● 電極の汚れは乾いた布でふきとってください。（このとき電極の位置を動かさないでください） |
|-------------------------------|--|

故障・異常の見分け方と処置方法

つぎの表を参考にして、処置してください。

| 現象 原因 | 容器(ボンベ)がセットできない | ガスの臭いがする | 点火しない | 点火しにくい | U字バーナーに火移りしない | 炎が安定しない。黄炎で燃える | 炎が不ぞろい | 火力が弱い | 使用中に消火した | 消火しない | 器具せんつまみを「消火」にしてもガスがもれる | 処置方法 |
|---------------------|-----------------|----------|-------|--------|---------------|----------------|--------|-------|----------|-------|------------------------|---------------------------------|
| 器具せんつまみが「消火」になっていない | ● | | | | | | | | | | | 器具せんつまみを「消火」にしてセットする |
| 器具せんつまみが全開ではない | | | | | | | | ● | ● | | | 器具せんつまみを全開にする |
| 点火操作が適切ではない | | ● | ● | ● | | | | | | | | 正しい点火操作をする |
| 圧力感知安全装置の作動 | ● | | ● | | | | | | ● | | | 安全装置についての説明の項を参照する |
| 器具せんつまみ、点火装置の不良 | | ● | ● | ● | | | | | | ● | ● | 点検修理を依頼する |
| ノズルがつまっている | | | ● | | ● | ● | | ● | ● | | | 点検修理を依頼する |
| 他社容器(ボンベ)を使用している | ● | ● | | ● | | | | | | | | ● SENGOKU ALADDIN用の容器(ボンベ)を使用する |
| 容器(ボンベ)セット不良 | ● | ● | ● | | | | | | | | | ● 容器(ボンベ)の表示通り、切込みを上向きにしてセット |
| U字バーナー炎口部の目づまり | | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | | 金属ブラシなどで目づまりを取り除く |
| 電極部の汚れ | | | ● | ● | | | | | | | | 汚れを取り除く |
| 圧電点火装置が不良 | | | ● | ● | | | | | | | | 点検修理を依頼する |
| ガスが少なくなっている | | | | ● | | | | ● | | | | 新しい容器(ボンベ)に取り替える |
| ガスがなくなっている | | | ● | | ● | | | | ● | | | 新しい容器(ボンベ)に取り替える |
| マグネットに鉄片、鉄粉が付着 | ● | | | | | | | | | | | 粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除く |
| 本体が変形している(歪み) | ● | | | | | | | | | | | 点検修理を依頼する |

※室温や容器(ボンベ)の温度が低い場合には、炎が小さくなる場合がありますが、器具の異常ではありません。

故障かな？と思われたときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、次の点検をしてください。

それでも異常のある場合は、お買上げの販売店まで保証書を添えて、商品をご持参してください。誤った修理は、火災や感電などの危険な事故につながります。ご家庭での分解修理はなさないでください。

| こんな場合 | 原因 | なおしかた |
|--|---|---|
| 点火しにくい ●電極から電極ガードに火花が飛ばないで違うところに飛んでいる。 ●急に火花が飛ばなくなった。 | ●電極と電極ガードとの間隔がずれています。 | ●電極と電極ガードとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。火花の飛び方向を調節してください。 |
| | ●電極の白い部分(セラミック)に水滴が付着しているか汚れています。 | ●水分、汚れにより漏電しています。取り除くとなおります。 |
| ●使用中、容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消えた。 | ●異常な使用のために容器(ボンベ)の温度が高くなって、圧力感知安全装置が働いています。 | ●5ページの「圧力感知安全装置が作動した時の処置方法」に従って復帰させてください。 |
| ●容器(ボンベ)が装着できない。装着しても、すぐ外れてしまう。 | ●保管場所の温度が高く容器(ボンベ)の温度が高くなり、圧力感知安全装置が働いています。 | ●6ページの「ご使用方法」に従って異物を取り除いてください。 |
| | ●マグネットに異物が付着しています。 | |
| | ●器具せんつまみが「消火」になっていません。 | |
| ●点火ミスによりくり返して点火した場合に「ポツ」という音がして少し炎が上がる。 | ———— | ●故障ではありません。そのままお使いください。 ※点火操作を行う場合は、顔や手をU字バーナーに近づけないでください。 |
| ●消火時に「ポツ」という音がする。 | ———— | ●火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。 |
| ●購入して初めて使用すると電極の周りの炎が赤くなる。 | ———— | ●数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。 |

アフターサービス

■ サービス(点検・修理)を依頼される前に

- (1) 9ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、一度ご確認ください。
- (2) ご確認の上で、それでも不具合がある場合、あるいは不明な場合は、自分で修理なさないで、お買上げの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。
- (3) 保証書に記載されている無料修理規定以外は、有償となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後5年間となっています。
- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

容器(ボンベ)のお求めは

容器(ボンベ)は、SENGOKU ALADDINとご指定の上、お買い求めください。

アフターサービスをお申し込みになるときは、お買い求めの販売店、または保証書に記載の「お客さま相談室」にお問合わせください。

「取扱説明書のダウンロード」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

aladdin-aic.com (で検索してください。)

故障・修理の際の連絡先

修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店か、右記へお問い合わせください。窓口の内容は予告なく変更させていただく場合があります。

日本エー・アイ・シー(株)
お客様相談室

フリーダイヤル

 0120-88-3090

受付時間：平日9：00～17：00
(土曜・日曜・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

日本エー・アイ・シー株式会社 本社 〒675-2462兵庫県加西市別所町395番地
☎ 0790(44)1025 FAX0790(44)2191
1907：★